

としてやつてもいい。

(ハ)工場研究會は、座談會とは違つて、一定のプランをたて、マトリックス知識を獲得するためのものだ。この研究會には、組合で指導する『マルクス主義研究』(それについて、教育方針の中に詳細に規定されてゐるから、それを参照のこと)のほかに、自然科学の研究會でも、地理や歴史の研究會でも、出来ればどしどしやるべきだ。これも、讀書會の一事業としてやる方が、宣傳上都合がいい。

(ト)その他、映畫の批判會でも、棋や將棋の會でも、どんく作つて利用すべきだが、なるべく、主力を工場野球團と讀書會に注ぐべきだ。

(チ)その他、消費組合の組織を組織運動のために利用することも極めて有効である。(消費組合の議案参照)

#### J 分會ニユースの役割について

(イ)分會の最大の武器は分會ニユースだ。分會ニユースなしに分會の活動なる活動を考へることは不可能だ。

(ロ)分會ニユースは、言ふまでもなく、分會の發行する工場新聞だ。工場新聞としては、分會ニユースの外に、黨の

工場細胞の發行する工場新聞と、工場委員會の發行する機

關紙とがある。そのほか、文化サークルや工場スポーツ團や讀書會などから、一種の工場新聞が發行される場合があるが、中心のものには、上述の三つの工場新聞である。(資本家側から工場新聞が發行されてゐる場合もある)

(ハ)一つの工場内で、その工場的全従業員を相手として、發行されてゐる新聞は、すべて工場新聞であるが、様々の工場新聞のもつ役割は、それを發行する組織の機能の相異に従つて異なる。——たとへ同じ目的に向つて刊行されてゐても——したがつて、黨は黨、組合(分會)は組合、工場委員會は工場委員會で、各自、署名入りの工場新聞を、別々に刊行すべきである。(全協の方針は間違ひだ)

(ニ)左翼の刊行する——もしくは左翼の指導の下に刊行される——新聞は、すべて、政治的、經濟的、暴露と闘争目標の指示とを目的としてゐるが、分會ニユースは、工場委員會の工場新聞よりは、常に一歩先んじて、一切の暴露を敢行し、明確なる闘争目標を指示する必要がある。一般大衆はそれによつて、問題の性質を理解し、何を爲すべきかを悟るのだ。工場委員會の意見も、分會ニユースがその役

割を充分に果たすときのみ、常に一定の方向に導かれるのである。

(ホ)戰線的工場委員會が、出来てゐない場合には、分會ニユースはなほ大きな役割を果たす。分會は、分會ニユースだけを通じて、一度に何千人の従業員に話しかけ、その相談相手となり、指導者となるのだから。

(ヘ)従来我々の陣營に於ては、分會ニユースの、この工場新聞としての重要性が、餘りハッキリ理解されてゐなかつたやうである。分會ニユースは分會員だけに配布すればいいのだ」といふやうなことを考へてゐたものすらある。これでは、分會が大衆的闘争を指導したり、未組織大衆を分會へ組織したり出来る筈がない。

(ト)技術的な問題としては、分會ニユースの配布の問題が最も困難な問題である。工場外の者がそれを持ち込むことは殆んど不可能だし、分會のメンバーが配布するにしても、事實上、それを一人一人に手渡すやうなことは、大抵は困難だ。(餘ほど組合が出来れば別だが)當面、考へ得られる唯一の方法は、分會のメンバーが、いゝ機會をねらつて、各職場や食堂や便所の中へ置いて來ることだ。

これもよほどうまくやらないと、従業員の手に渡らないうちに、職長や組長なんかに見られて没收されて了ふ。

(チ)分會ニユースは、毎月少くも三回位、發行する必要がある。材料は、無論、工場内の活々した問題でなければ駄目だ(型は毎回一定したものにする方が親しみが出来るので効果的だ)

### 三、戰線統一に關する方針

#### A 我々の基本的統一方針

(イ)我々の基本的戰線統一方針は、工場内の全大衆を左翼の旗の下へ統一することである。

(ロ)總同盟、總聯合、海員組合、全國労働、等々の右翼組合の幹部は、既に全く反動化し、今では、文字通り、資本家並に資本家政府の手先としての任務を遂行してゐるのであるから、彼等と相談して、労働組合の戰線を統一しようなど、考へることは、全く無意味である。

(ハ)わが總評議會は、創立以來、戰線統一の必要を主張して來てゐるが、それは、我總評議會と、右翼組合との合同